

「真の御父母様を御迎える精誠の基台」

終末とは、サタンから出発した罪悪世界が滅び、創造本然の神主権の理想世界が出發していく、善悪を交差する転換点をいいます。悲しみが喜びに変わり、地上地獄から地上天国に変わっていく喜びの時であります。人類に喜びと希望を与えていく真理と真の愛を示され、サタンによって汚されてしまった不幸の根本である血統問題を解決する為に来られた方が、真の父母様であります。祝福によって血統転換していくことで、不幸を退け、幸福を実現していく道が開かれていきます。祝福を通して理想の夫婦、家庭、世界をつくり、家庭を再建し、世界平和の道をつくり上げていくのであります。

サタンが働くことの出来る基台を断ち切れないと幸福を実現することはできません。原理のみ言と真理をもって氏族と地域を導いていく役割が、私たちにあります。お父様の最後の遺言のみ言が“氏族メシヤ”です。私たちに氏族メシヤを果たしてほしいと命令されたお父様が、それを成就できるように霊界から協助力準備して下さっているのであります。中心人物は氏族メシヤである私たち自身でありますので、天一国の民となった私たちの心情と動機、決意によって基台が築き上げられていくのであります。主体が立って環境が創造されていくのが、創造原理です。原理的な心情と動機、真の愛を先立ててこそ、環境創造がされていきます。人間は第二の創造主であります。神様の無限の力を受ける天一国の民として私たちが生かされていますので、与えられた氏族と地域環境圏を、天の父母様に連結していけるように努力を成して参りましょう。

毎日、天の父母様に侍る生活をし、天の時(礼拝・十一条など)を守り、神様と歩調を合わせていく中で、天が働くことのできる道が開かれていきます。天の御心の方向に一歩踏み出していくことを通して天が役事していけます。ご父母様と与えようとする天の祝福を一人一人が心情復帰をして勝ち取っていきましょう。真の御父母様を御迎えるにあたって伝道の勝利の証を捧げていけるように最善を尽くしていきましょう。



本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
 - 2、ビジョン2020勝利のための「第一次40日特別精誠路程」が行われています。
期間：2013年9月2日(月)～10月11日(金)【40日間】
 - 3、ファミリー釣り大会
日時：9月23日(月・祝) 現地集合：午前5時 予定
場所：福井県小浜市 犬熊漁港
 - 4、京都を愛する書写の会
日時：9月26日(木) 10:30～
場所：京都教会
 - 5、朴普熙博士関西講演会2013
日時：9月28日(土) 14:00～16:30
場所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 大ホール
 - 6、地区青年学生大会
日時：9月29日(日) 15:00～17:30 (14:30開場)
場所：サンケイホール フリーゼ
対象：中高生～青年(48歳まで)
 - 7、京都セミナー(二日修練会)
日程：9月28日(土)・29日(日)
場所：サン・アカデミー京都
【1日目】13:30～20:00 (13:00受付)
【2日目】10:00～16:00 (9:30受付)
 - 8、しあわせ講演会
毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所：サン・アカデミー京都
 - 9、教区全体特別精誠祈禱会
毎週金曜日 21:00～ 場所：京都教会
 - 10、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会
日程：9/23(月)～9/28(土)、10/3(木)～10/8(火)
 - 11、清平修練会
9/27(金)～9/29(日) 10/5(土)～10/7(月)
(◆霊肉界家庭出発修練会) (◆四位基台入籍祝福式)
- 2013秋季清平特別大役事
10/25(金)～10/28(月)
万物の樹祈禱会、統一運動会、先祖祝福式、
追加先祖解怨式、所願成就祈禱会の恩恵等

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町 6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : http://www.uckyo.org/

式次第



執礼者：武藤努教区長
司会者：浅平望

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 2 番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教 家和して万事なる	
※讃 頌 聖歌 2部-8 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

「家和して万事なる」という言葉を覚えておくべきです。家庭が平和であれば、すべてのことがうまくいくという意味です。平和な家庭は天国の基礎であり、家庭の原動力は愛です。家庭を愛するように宇宙を愛すれば、どこへ行っても歓迎されるようになります。神様は、宇宙全体の父母として愛の真ん中にいらっしゃるのです。したがって、愛にあふれた家庭は、神様にまで一萬千里で通じるようになります。家庭が愛によって完成してこそ宇宙が完成するのです。

家庭というのは、人類愛を学び教える学校です。

父母の温かい愛を受けて育った子供は、外に出ていけば、家で学んだとおりに、困っている人を愛の心で助けるでしょう。また、兄弟姉妹の間で情け深い愛を分かち合って育った子供は、社会に出て隣人と厚い情を分かち合って生きていくでしょう。

愛で養育された人は、世の中のどんな人でも家族のように思うものです。自分の家族のように思っ人へに仕え、人に自分のものを分けてあげる愛の心は、真の家庭から始まります。

私たちが幸福になるためには、幸福も不幸も私の心のあり方次第であることを悟らなければなりません。

自分よりも、もっと大きな苦難に遭遇しても、怨みを抱かず、真の愛を実践された文鮮明先生と同じ愛の心になれば、どうでしょうか？必ず幸福への道が開かれるはずですよ。

「自叙伝 心の書写」は、文鮮明先生の愛の心を、言葉を書き写すことを通して、自分の心に移すことなのです。自分の心が、一歩でも、二歩でも、文鮮明先生の深くて広い心に近づく努力なのです。分かりやすく言えば、文鮮明先生の真の愛の心に似ることなのです。

もし、ある人が人生の苦難に直面して絶望し、生きる希望を失っているとすれば、その人の心はすでに、死んだ心です。しかし、何倍もの苦難に遭遇しても感謝と愛の心を持ち続け、理想の実現のために、勇気を持って挑戦し続ける、文鮮明先生の心は、生きた心です。

それゆえ、文鮮明先生の「生きた心」を死んでいる自分の心に移植するのが、「心の書写」なのです。「心の書写」による心の移植で、心が蘇生するのです。

統一運動

第4回「Jr. STFカンボジア奉仕修練会」のレポート

7月31日～8月15日まで、カンボジアで第4回「カンボジア奉仕修練会」(主催:成和学生部)が行われました。日本からは30名の高校生と青年スタッフ4名が参加し、首都プノンペン¹の大学生も加わって、非常に国際色豊かなメンバーで活動を行いました。

この修練会は、奉仕活動を通じた人格教育を行うことで、心情・感性を育成することを目的としています。

主な内容は、プレイベン村での一週間の奉仕活動とホームステイ、アンコールワット見学です。村の奉仕活動では、歌やダンスでの交流、救護施設の土台づくりのための作業、子ども達にダンスや折り紙、日本語などを教える子ども教室、村の方々へのインタビューなどを行いました。また、学生たちの理解を深める為に、現地の様々なNGO団体の応援や協力を受けることが出来ました。

村での生活は日本と比べれば決して豊かとは言えませんが、そこには大人も子供も関係なく、村の人達の温かな愛情が溢れていました。日本では感じる事のないような温かさ、思いやりや気づかいに触れ、学生たちの心が大きく開かれていきました。

ただ純粋にメンバー達を喜ばせたくて、自然と愛を与えてくれる。村の人達の溢れんばかりの愛を通して、メンバー達は、“奉仕に見返りを求めていたのではないか？”と自分自身を反省し、心からの愛で奉仕活動を行うようになっていきました。ただ、決められた時間内での奉仕活動ではなく、自分の事情を越えて相手を喜ばせるため、相手の願いを見つけ、24時間を奉仕の精神で生活していきました。そうすることを通して、ために生きる喜びや生きがいを実感することができたようです。

言葉が通じなくても、愛によってお互いの心と心が通じ合う喜び。最初は不便だと感じるような現地の環境・文化が、自然と自分の文化となった体験。国を越え、人種を越え、貧しい・豊かという概念を越えて愛で一つになり、最後には溢れんばかりの涙で別れた、まさに家族の関係を一人ひとりが結ぶことができた修練会となりました。

